

創意工夫

高付加価値部品のトップブランドを目指して

第54期がスタート
厳しい外部環境の中、
着実に成果を創出する！



代表取締役
清水 克洋

第54期の見通し

新型コロナウイルスの感染状況に応じた感染予防対策による影響により抑制されてきた経済活動が徐々に拡大したことによって、先期においては当社の受注状況も概ね好調に推移しました。そういった環境下の中で「新たな受注を獲得すること」と言うよりは、「受注した製品をお客様が必要とされるタイミングでお届けすること」に注力できたのではないかと考えております。

10月より第54期がスタートし約2カ月が経過しましたが、先期のスタート時と現在とでは当社の置かれている事業環境は大きく変化してきていると感じています。ロシアのウクライナ進行による「エネルギー・原材料高」、円安ドル高が一気に進んだ「為替変動」、また欧米では10%近いインフレを抑制するため政策金利を大きく引き上げたことによる「金利高」など、日本はもちろんのこと世界的に景気の下振れリスクが考えられる状況が続いています。

当社の主要3部門である、軸受・工作機械・半導体のうち、半導体からは直近の受注量が前年比で大きく減少しており、この右肩下がりトレンドがしばらく続く見込みです。

軸受・工作機械分野においては、今のところ高止まり、横ばいの状況ですが、状況

が大きく変化する可能性も十分に考えられます。

このように当社を取り巻く事業環境は非常に不安定な状況ではあるものの、第54期の事業計画は先期と同水準の売上げ・利益を目標と致しました。高い目標ではありますが、各部門がそれぞれの役割を全うし、助け合うことで達成可能だと思っています。

各部門に求めること

コロナ発生前からの約3年半余りにおいて、製造部・生産統括部・営業部が三位一体となり、社内の収益性を上げるための取り組みを推進してきました。まさに第53期の業績はその取り組みの結果と捉えています。その推進スピードを更に高め、部門ごとの個別テーマを着実に推進していくことが、第54期の成果に必ずつながると思っています。

製造部では、DX化の一環として「設備稼働の見える化」を進めています。IoT機器や各種システムを組み合わせ、作業者や設備の稼働状況の実績を自動で集計できる仕組みの構築を目指しています。

現在、試作機を運用している段階ですが、「設備稼働の見える化」は工場内の全ての設備への水平展開を想定しています。この取り組みによって製造部全体の抜本的な改善に着手し、人財育成や生産性向上という成果を期待しています。

営業部では、半導体がコロナ禍の苦しい状況の中で牽引役を担ってくれていますが、その状況が大きく変化する中で、先期並の数字を達成するため「その他の事業での新規受注」が必要不可欠となると考えています。

また、営業部の課題のひとつでもある営業の進捗管理体制を変革する必要があると感じており、現在お客様から頂戴した引き合いに関する進捗の管理体制の変

革に取り組んでいます。

これまでは各担当者だけがその状況把握してきたため、ヌケ・モレなど適切な対応が取れていない状況が散見されてきました。また、引き合い獲得後の進捗をリアルタイムに把握するだけではなく、受注・失注の要因分析を行い、次の営業活動に活かす仕組みを今期中に構築したいと考えています。従来の管理体制とは大きく異なるやり方であるため、新たな管理方法が定着するまで時間がかかると思っています。徐々にステップアップすること、営業部の踏ん張りにも期待しています。

生産統括部は、先期に続いて製造部と営業部の橋渡しの機能を強化し、受注から出荷までのスムーズなモノと情報の展開に注力して欲しいと思います。この取り組みは「在庫管理の適正化」にもつながると思っています。

作り過ぎによる過剰在庫、出荷時期が明確ではない仕掛品など、解決しなければならぬ様々な問題がありますが、製造指示のタイミングと量を適正化することで、会社全体の収益性に貢献することを期待しています。

厳しい環境においても 成果を創出する

製造部・生産統括部・営業部が一致団結して改善を推進することが、会社全体の成果につながると考えています。実際に、今期がスタートして約2カ月が経過しましたが、納期遅れの金額において220万円(11月20日時点の実績)まで縮小できており、当社のように多品種微量生産の企業において、この金額は一定の成果であると捉えています。

厳しい事業環境ではありますが、このように日々の活動を大切にして更なる成果を創出し、第54期の事業目標を達成したいと考えています。



加藤さん

外周研磨BK
福森さん

高清ブロックリーダー

当社のモノづくりを支える、マシンング・汎用フライス・汎用旋盤・NC旋盤・研削の各加工技術を紹介いたします。今回は、外周研磨BKから白川課長、高清BK、加藤さんにお伺いしました。

外周研磨BKの特徴

外周研磨BKでは、主に工作機械の段替え部品やスピンドルの研磨加工を行っています。

特徴としては、長年培った超硬加工のノウハウを活かした、他社では嫌煙されがちな精度要求の厳しい製品も数多く請け負っています。

素材の特性上、加工難易度が高くなりますが当社では積み重ねてきた加工実績によって他社よりも少ないロスでの加工を実現しています。

「精度の要」外周研磨

最終工程である、外周研磨は精度要求を満たすための「要」となります。一方で、最終工程であるということは、外周研磨を終えなければ納品できないということでもあります。

精度要求と納期遵守、どちらもお客様の満足度向上において欠かせない要素です。スピードと精度

の両立を常に課題意識として持ち、最速で最良の製品を納品できるように意識しています。

加工時間短縮と精度向上のための取組

現在、外周研磨BKでは加工時間の短縮と精度向上のために治具化に取り組んでいます。順調に取り組みは進んでいます。更にもう一歩先の効果を創出するためには図面を見た瞬間に、どの治具を使えば良いのか判断できるようになる必要があると感じています。

製造部全体を見ると受注残が減り、かつてのような一体何から手を付ければ良いのか検討もつかない状態からは脱却し、納期対応など客先要望に対して、柔軟な対応も可能になりました。

治具化などの新しい取り組みを行う余裕が出てきたことから、若手社員の育成にも取り組んでいきたいと思っています。最終工程である研磨では、失敗してしまうと全ての加工がムダになってしまうことから失敗を恐れてしまいがちですが、チャレンジしなくなってしまうと成長も出来なくなってしまうと思います。より高い技術を身に付けるためにも、失敗してしまっても問題なく対応できるような生産体制を整えて、積極的にチャレンジできる環境をつくるのが出来ればと思っています。



JIMTOF(JAPAN INTERNATIONAL TOOL FAIR)とは、工作機械およびその関連機器などの商取引の促進や国際間の技術交流を図り、産業の発展と貿易の振興に寄与することを目的とする工作機械見本市です。11月8日から13日までの6日間開催され、出展者1086社と過去最大規模での開催となりました。当社では12日と13日の自由参加で12名が参加しました。

APS 北村リーダー

JIMTOFは加工業界の流行を知る場であり、新商品について開発担当者や技術者に直接話を聞くことが出来る貴重な機会です。今回参加して感じたことは、既存工具の改良とエゴが現在の流行ということ。会場内は新商品や新技術の展示は少なく、従来の機能を改良したものや複数社によるコラボで付加価値を高めたもの、省電力や加工コストの削減によってエゴを全面に打ち出したものが目立ちました。また、DXや自動運転をテーマとした商品も多くみられました。

各企業ブースで実際に技術者と話すことで、カタログには掲載されていない生のデータを教えてもらえます。そのデータは加工成功率の向上など日々の業務の改善に活用できます。

製造2課 中島さん

これまで毎回のように参加しているJIMTOFですが、今回は4年ぶりの開催でした。新しい製品や工具を見ることが出来る良い機会ですし、当社が製品を納めているお客様も出展しているの、どこの製品のどの部分に使われているのか実際に見ることもできます。以前に試作品の製作に携わったものが、製品として展示されているのを見ることも出来ました。

その一方で以前と比べると参加者が少ないように感じました。かつては入場する際にも列ができていましたが、今回はそのようなこともなくスムーズに入場し、見て回ることができました。展示内容としては、省エネや当社でも力を入れている自動化といったテーマが多く、現在のトレンドなのだと実感しました。

様々な新しい工具や設備の発見がありました。小さな径でも大口径のボーリング加工が可能になるボーリングバーや、設備のセンサーと組み合わせることで自動で径の計測を行い、数値を入力すれば自動加工が可能になる工具、HRC60の超硬度加工が可能になるリーマ、変わり種では超音波バリ取り機も面白いと思いました。

製造1課 牧野さん

前回の参加は入社2年目の時でした。現在は入社8年目ということで同じ展示会でも以前とはどのような点か変化したのかを確認する意味も込めて、今回参加しました。

前回はただブースを眺めるだけでしたが、今回は会場内を歩いているだけでも見知った社名を発見できたり、興味がある展示、無い展示が分かるようになり、成長できたのかなと感じました。

NC旋盤分野の展示に関して、予想よりも出展ブースが少なかったのですが、これまでにないチップの先端角度が15°になる工具を発見できました。今後、試作品加工を行うときに機会があれば今回発見した工具を使ってみたいと思っています。

ベトナムBKトウエンリーダー

機械についてもっと学びたいと思っています。社内にはない機械を実際に見れる機会ということで参加しました。ベトナムではこんなに大きく、たくさん展示があるイベントはありませんでした。

展示を見て回るだけでも勉強になりましたが、材料から完成まで、どんな機械を使って加工をするか、何が必要なのかを学ぶことが出来ました。自分がしている仕事の理解が深まることで加工時間の短縮につながれると考えています。また、展示の中では自動運

転の設備が最も興味深かったです。最先端の技術を実際に見ることが出来てとても良かったです。

ベトナムBK ヒュウリーダー

JIMTOFでは、同時に複数個の加工可能な設備や高精度加工に使用するテストツールなど初めて見る最新の技術を見ることができました。最も興味深く驚いたことは工具の測定と旋盤加工時にワークの固定を支援するロボットです。近い将来、更に多くの種類の支援ロボットが登場するのを感じました。

今回学んだこと、経験したことを仕事で活かしていきたいです。5Sを意識した配置による作業環境の改善や加工時間の短縮、材料の節約といったことも技術を学び、経験を積んでいきたいです。

ベトナムBK ズンさん

たくさんさんの最新の工作機械やロボットを見学できました。DMG森精機(MU50)が同時5軸加工が可能で加工コスト削減、加工品質、精度の向上という点で興味深かったです。

製造分野の知識を広げられたと感じています。まずは回転軸ブランクから学んだことを活かしていきます。難しいとは思いますが、楽しみにもなっています。

2つのマニアックな趣味

多趣味とは決して言えないと思いますが、自分でも少しマニアックだと思っている趣味が2つあります。1つ目は「音楽」で、2つ目は「バスケットボール」です。

1つ目の音楽については、幼少の当時ビートルズの全アルバムを（今では懐かしい「LP盤」で）所有していた父親の影響を受け、自分自身も自然に音楽に興味を持ちました。以降洋楽・邦楽を問わず、幅広いジャンルの音楽を聴いてきています。特に70〜80年代のロックやポップス、R

2つ目の趣味、バスケットボールについては特にアメリカのプロバスケット、NBAが昔からマニアックに好きです。幼少の頃に外国人を奥さんに持つ伯父が送ってくれる海外で録画したビデオがきっかけでNBAにハマり、以来筋金入りのロサンゼルス・レイカーズファンです。

留学先でも役立った趣味

バスケットボールは観るのもやるのも好きで、小学1年生の頃のミニバスからずっと続けました。アメリカに對する憧れもあり、高校卒業後バイトで貯めたお金で留学したりもしましたが、現地の大学のチームでもプレイしたり、本場のNBAの試合を数多く観に行ったりと、人生で一番幸せな時間を過ごしました（笑）。留学時代はバスケットボールのおかげで友人も沢山でき、学校で習うようなキレイな英語以外の言葉も沢山学ぶ事ができました（笑）。

今は運動の機会が減り、試合はほぼ観るのが専門になりました。しかしバスケット愛、レイカーズ愛は変わらず、また強いチームになってくれることを期待しながらNBAの試合を観戦しています。



愛用のギター



秘蔵のレイカーズグッズ

石金ニュース!

NEW FACE紹介&ミニ四駆大会優勝報告



10月1日に入社した、ベトナムエンジニアの3名をご紹介します。皆さんには①年齢、②出身、③趣味、④入社を決めた理由、⑤石金精機で頑張りたいことをお伺いしました。

グエン ズイ ホアン
左から、NGUYEN DUY HOANさん
レ スアン チュオン
LE XUAN TRUONG さん
グエン ヴァン トアン
NGUYEN VAN TOANさん

ホアンさん

- ①24才 ②ハイズオン省
- ③卓球
- ④機械の知識を学び、経験を身に付けたいと思いました。
- ⑤会社へ貢献することと、社内の全ての設備を操作できるようになりたいと思っています。

チュオンさん

- ①30才 ②中部
- ③サッカー、日本ではバドミントンをしています。
- ④日本に住みたいからです。
- ⑤会社への献身と働く中で技術を勉強していきたいと思っています。

トアンさん

- ①32才 ②タイピン省
- ③サッカーの試合観戦、旅行
- ④以前、滋賀県で働いていました。経済発展をした日本で学びたいですし、水や空気がキレイで住みやすいので、日本で暮らしたいと思っています。
- ⑤技術を身に付けたいです。旋盤加工は世界中に普及している技術なので、どこでも役に立つ技術です。



ミニ四駆大会優勝

11月26日(土)にファボーレにて開催された、「ミニ四駆Toyama Cup 2022」にて優勝しました。境野リーダー、中野さん、北本さん、奥村さん優勝おめでとうございます!

